

シングルセル解析セミナーのお知らせ

演題：『Chromium を用いたシングルセル解析
～アプリケーション紹介とデータの使用例～』

演者：10x Genomics Japan株式会社
雨貝陽介氏 (Science & Technology Advisor)

日時：令和6年6月12日（水）16:30～17:30

開催方法：オンライン開催（Teams）

申込：下の事前申込フォームよりお申し込みください。



事前申込フォームQRコード

（締切：令和6年6月12日（水）16:30）

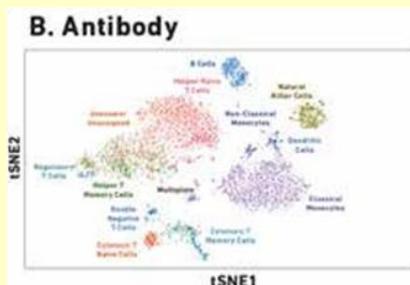
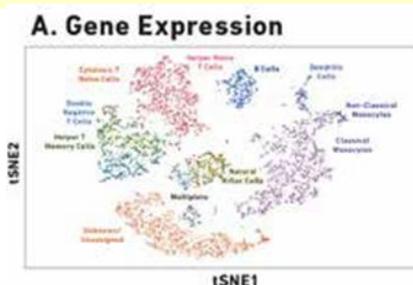
<https://forms.office.com/r/KeMw25fhwj>

申込時に入力いただいたメールアドレスに説明会への参加リンクを送信いたします。

内容

シングルセル解析は、ヘテロな細胞集団で構成される組織を解析するツールとして注目を集めています。高解像度な遺伝子発現解析に加えて、エピゲノミクス、プロテオミクスなど複合的な解析を行うことで、個々の細胞の応答やフェノタイプをより正確に知ることができるようになりました。また、昨年新たにリリースされた遺伝子発現Flexキットではヒト・マウス由来の細胞や組織を固定してから解析を実施することも可能になり、シングルセル解析の幅がますます広がっています。

本セミナーでは、シングルセル解析が最近どのように論文で活用されているかについて、実際の使用例などを交えてお話させていただきます。これからシングルセル解析を始めようとする先生、また既にシングルセル解析を実施されている先生にもお楽しみいただけるような内容をご用意いたします。



<お問合せ先>

愛媛大学学術支援センター(ADRES) 医科学研究支援部門
(内線: 5179, ikagaku-support@m.ehime-u.ac.jp)